

## ライフインテリジェンスとオフィス情報システムレター特集の発行にあたって

ライフインテリジェンスとオフィス情報システムレター特集編集委員会

委員長 若原 俊彦



ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS) 研究専門委員会では、1986年度のオフィスシステム (OS) 研究専門委員会の発足以来、ビジネス系ユーザを中心にオフィス内の知的生産活動に資する基本技術からアプリケーションなどの応用技術・システム・サービスまでを研究対象として取り扱ってきた。インターネットの普及と相まってオフィスユーザにとどまらず一般ユーザにおいてもシステム開発・運用及び情報発信等がなされるようになり2009年度からライフログも含めて人文・社会情報系も対象に研究範囲を広げ現在の研究会名称に変更した。2014年4月をもって名称変更後5年が経過し、ライフログ技術を中心に論文発表件数も大いに増加し、LOIS名称が定着化してきたので名称変更5周年記念イベントの一環としてLOIS論文レター特集を企画した。特に、例年3月に開催される本学会総合大会及び9月に情報処理学会と共催される情報科学技術フォーラム (FIT) においては短編の論文が数十編以上発表されるものの口頭発表にとどまっておらず、論文文化すべきとの意見が高まったことに配慮してレター特集としたものである。

本研究専門委員会関連の論文特集としては、2002年7月のオフィスシステム論文小特集 (9編)、2006年12月の次世代ワークスタイル論文特集 (6編)、2012年4月ライフログ処理技術とその活用システム論文特集 (13編) に引き続き4回目の特集の企画であり、今後も継続的に特集を企画していきたい。

今回のレター特集に関しては24編の投稿があり、こ

のうち15編が採録判定された。その内訳は、

・ライフログ関連	3編
・データマイニング・オフィス内の情報抽出 技術関連	1編
・システムアーキテクチャ関連	3編
・セキュリティ関連	3編
・オフィスアプリケーション関連	1編
・その他支援技術関連	4編

であり、システム開発論文は1編であった。掲載を見送らせて頂いた9編には書き方を工夫すれば採録可能な興味深いものも数多くあった。

本レター特集の編集にあたり短期間に企画・論文募集・採否判定等の作業が計画通り進められたのは、福田洋治・白石善明両編集幹事、編集委員及び査読委員の御尽力によるところが大きく、また論文を投稿頂いた著者の方々及び本企画を支援頂いた和文論文誌D編集委員会の関係各位に深く感謝する。

わかばら としひこ  
若原 俊彦 (正員) 1970東工大・工・電子物理卒、1972同大学院修士課程了。同年日本電信電話公社 (現NTT) 電気通信研究所入所、ヒューマンインタフェース研究所、サービスインテグレーション基盤研究所主幹研究員を経て、1999早稲田大学国際情報通信研究センター客員教授、2003より福岡工業大学情報通信工学科教授。本会LOIS研究専門委員会前委員長。これまで主としてPCM-FDM伝送方式、情報通信システム、オフィスシステムの研究開発等に従事。博士 (工学)、情報処理学会、画像電子学会、IEEE各会員。

ライフインテリジェンスとオフィス情報システムレター特集編集委員会

委員 幹事 委員	委員長	若原俊彦	白石善明	岡本学明
		福田洋治	伊沢亮一	谷本茂明
		相澤清晴	鈴木敬	
		小館亮之	山元規靖	
	榎垣泰彦			